

Study of Composition

2 units 2nd-year(2nd semester)

Kazuto Miyazawa · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) この講義では音楽理論研究で学んだ基礎的な「和声学」を土台に、さらに高度な内容を学ぶ。和声学の学習を一通り終えた段階で、さらに「対位法」や「編曲法」についても学習する。旋律への和声付けや、伴奏付けを行うことで、多様な音楽表現の方法を身につける。

Outline) すでに学んだ「音楽理論研究」をふまえて、実践的な作曲や編曲の方法を学ぶ。

Fundamental Lecture) “**Study of Music Theory**”(1.0)

Relational Lecture) “**History of the Contemporary Music**”(0.5)

Notice) この講義を受講するためには、「音楽理論研究」を受講していることが必要不可欠である。この講義から受講を希望する学生には、十分な音楽的素養を身に付けていることが要求される。また毎週かなりの量の課題をこなして行かなければならない。授業以外の学習に相当な時間を割かれることになる。課題の進行状態の悪い者には単位が出ないこともある。

Goal) それぞれの音楽スタイルにふさわしい伴奏付けができる。また、様々な編成に向けた編曲ができる。

Schedule)

1. この講義では、前期で学習した内容を基本に各受講生の進歩に応じて、授業内容の詳細を決める。
2. 課題の実践(その1)
3. 課題の実践(その2)
4. 課題の実践(その3)
5. 課題の実践(その4)
6. 課題の実践(その5)
7. 課題の実践(その6)
8. 課題の実践(その7)
9. 課題の実践(その8)
10. 課題の実践(その9)
11. お互いの解答を比較し検討する(その1)
12. お互いの解答を比較し検討する(その2)
13. 最終的な解答の作成(その1)
14. 最終的な解答の作成(その2)
15. 総括授業
16. 期末課題の提出

Evaluation Criteria) 講義時間中の課題の出来具合、および最終のテストにより評価する。

Re-evaluation) 行わない

Textbook) 授業のための課題を、そのつどプリントして配布する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219112>

Contact)

⇒ Miyazawa (multimedia-A 204, +81-88-656-7163, miyazawa@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 水曜日昼休み(研究室に在室している時は、特別な場合を除いて対応可能))

Note)

- ◇ 今年度は開講する。なお、今回の開講が最終回になる。
- ◇ 平成20年度以前の入学生を対象とする。21年度以後の入学生は受講できない。